

あわゆず ふれず

第39号 2023年 5月15日発行

伝えよう日本語を
広げよう徳島から



J T M と く し ま
日本語ネットワーク

「徳島が好き！」 ～外国の人たちの思いに応えるために～

2022年6月、JTMとくしまは設立25周年を迎えました。節目の年に、私たちは二つの座談会を企画しました。一つは、2022年5月14日に徳島中央ロータリークラブとの共催事業としてオンラインにより開催した座談会「ともに見る景色～私たちにできること～」です。クラブ会員で会社経営者や弁護士、社会保険労務士の5名の方々がアドバイザーとして参加くださり、5人の外国の方々の「徳島で実現したいこと」についての発表に耳を傾け意見交換を行いました。

もう一つは、設立25周年記念トークイベントとして2023年2月25日に開催した「ここでともに暮らす～外国人から見た徳島の魅力～」です。4人のパネラーの方々が、自然が豊かで美しいこと、人が優しくあたたかいことなどを徳島の魅力として紹介してくださいました。

「日本に来て家族がどんなに遠くに離れていても、『自分はこの地域に迎えられている』という実感がいちばん大きな支えです。」かつてそう話してくれた、今も心に残る外国の方の言葉が座談会での外国の方々の思いと重なり、それ以来、どうすればこのような地域社会を実現していけるのかを自問しています。

2022年末、徳島県の在留外国人は7,009人と、統計を取り始めて以降、初めて7,000人を超えました。県人口は今や70万人を切り、ついに100人に一人が外国人という状況を迎えました。職場でともに働く外国人、学校でともに学ぶ外国にルーツを持つ児童生徒や学生が増えていると実感する人も多くなってくることでしょう。

国では、技能実習や特定技能などの制度の見直しがなされ、これまでも増して外国人が暮らし働く場所を選択できるようになります。そうなったとき、より多くの外国人に「選ばれる徳島」にするために、私たち県民一人ひとりにできることはどのようなことでしょうか。

仕事帰りに立ち寄るコンビニでは、外国人と思われる名前が書かれた名札をつけた若者がレジで迎えてくれます。列の後ろに誰もいないことを確かめると、声をかけて短い会話を交わします。「留学生ですか。」「お国はどちらですか。」「アルバイトはたいへんですか。」そんな問いかけに、学校名や出身国を教えてくれたり、「商品の名前を覚えるのがたいへんだけど、楽しいです。」とマスク越しに笑顔を投げかけてくれたりします。短いやりとりにも心が和み、一日の疲れも和らぐのを感じます。私たちのほうこそ、外国の人たちに助けられ支えられているのだと実感します。

発足以来、毎月1回開催している日本語の教え方を学ぶ日本語指導勉強会に25年間参加しているメンバーは、「何度参加しても新しい発見がある」と他のメンバーにも参加を呼びかけています。勉強会での学びを生かして「日本語サロン」や「にほんご寺子屋」で日本語支援に取り組む先には、外国の人たちと心が通い合い分かち合える喜びがあり、「徳島が好き！」という思いに触れる時間があるのかもしれません。

毎年8,000人以上もの人口減少が続く徳島にあって、こんなにも徳島を好きでいてくれる外国の人たちがいて、支え助けてくれていることを私たちは知っています。そのことを一人でも多くの県民の皆さんに伝えていきたい、そして、「徳島が好き！」という外国の人たちの思いにともに応えていきたいと願っています。

(JTMとくしま日本語ネットワーク会長 兼松 文子)

コロナ禍での JTM活動

JTMとくしま日本語ネットワーク設立 25周年記念トークイベント ここでともに暮らす ～外国人から見た徳島の魅力～

日 時：2023年 2月 25日（土）13:00～15:00

場 所：徳島県国際交流協会 大会議室（クレメントプラザ 6F）

参加者：27名（パネラー4名、来賓2名も含む）



JTM とくしま日本語ネットワーク設立 25 周年を記念してトークイベントを行いました。久しぶりの対面での開催となった今回は、外国から徳島に来て、これからも住み続けたいと思っている 4 人の方に、なぜ徳島に惹かれたのか、その魅力を語っていただきました。

兼松会長の挨拶に続き、来賓としてお越しいただいた徳島県国際交流協会の三好誠治理事長、徳島県労働者福祉協議会の川越敏良会長のお二方にご挨拶をいただきました。

4 名のパネラーの方に、徳島に住んで思うことを話していただき、その後、パネラー間での意見交換、質疑応答と続き、村松副会長の総括と挨拶をもって終了しました。

1 フロスト ロバート達也さん（アメリカ）のお話

2006 年に中学 2 年で来日し、高校まで徳島で暮らし、大学進学で上京して、その後東京でサラリーマンをしていたのですが、昨年、徳島に帰ってきました。現在は、リモートワークをしています。来日した当時は、バスケットボール部に入りましたが、文化の違いが部活動にもあらわれていて、途中なじめず一時中断していたけれど、3 年生になって復帰し、みんなと和解して試合にも出ることができました。東京は暮らしやすいと感じることも多いけれど、徳島に帰ってきて改めて、徳島は自然がきれいで、水もおいしく、田舎としては非常に整備されていて、住みやすいところだと感じました。また、人が優しい点も徳島の良いところだと思います。

2 タナセ リリアナ マリアさん（ルーマニア）のお話

17 年前、藍住町に来たときは、何もないところだと思いました。私は日本語の勉強をしたかったのですが、どこで学べるかを調べるできませんでしたし、交通機関が少ないのも困りました。今は、車の免許も取り、図書館に行って日本語の勉強をしてからだんだん友達もできて、徳島の人たちの優しさを知りました。徳島は田舎だけど自然が多くてきれいで、ルーマニアの私の町と似ていると思います。だから好きです。徳島でなかなか仕事が見つかりませんでしたが、去年介護の資格が取れることを知り、勉強しました。また、今年 4 月からしらさぎ中学へ通うことにしました。新しいスタートをします。17 年でやっと学校に行きます。これから日本語がもっと上手になって、もっと楽しくしていきたいです。これから私もできることをもっともっとがんばっていきます。

3 アブ ライハン エムディさん（バングラデシュ）のお話

今、私は四国大学の留学生ですが、卒業しても徳島から離れるつもりはありません。5 年前に来日し、2 年間、兵庫県の日本語学校へ通いました。そのときのオープンキャンパスで、徳島に来て、吉野川を見たり、阿波踊りを見て、徳島の大学に入ると決めました。徳島に来て 3 年になりますが、徳島の魅力をいくつかあげたいと思います。まず、自然が豊かで美しいこと、川が多いこと、人が優しくて親しみやすいこと、治安がよく安心

できること、医療もいいし、物価が比較的安く働きやすいこと、地産地消を目指していることなど、たくさんの良いところがあります。これが、私のこれからも徳島に住み続けたい理由です。

4 任 恵絹（にん けいけん）さん（中国）のお話

私は、人情あふれる徳島県民についてお話ししたいと思います。2001年4月に徳島に来て、外国人登録証明書の写真を撮りにカメラ店に入った時のことです。お店に「募集」の文字があって定員さんに聞いたら、店長さんと呼んできてくれて、その場で採用されました。徳島に来て1週間でした。そして、結婚するまで、そこで働かせてくれました。店の人はどの人もとても親切で、食べるものの心配などもしてくれました。

現在私は、徳島県勤労者福祉ネットワークに勤務し、資格もいろいろ取りました。また、2021年にユニバーサルカフェ「つながり」を立ち上げました。外国人に徳島を好きになってほしい。外国人が暮らしやすい徳島にしたい。そしてもっと外国人に活躍してほしいと思ったからです。これからも徳島で笑顔で暮らしていきたいと思っています。

【意見交換・質疑応答】

- 最初「ほなけん」という阿波弁を聞いたときには、何のことかわかりませんでした。今は阿波弁を聞いても何となくわかるようになりました。
- 漢字は大変でした。来たのは中学の時だったので、学校で、先生がつきっきりで教えてくれました。
- 日本の食べ物がだめでした。スーパーでお総菜を買っても味が合わず、12kgやせました。チーズと思って買った豆腐で、醤油もだめで大変でした。
- 宗教の関係で、豚肉がだめだし、牛肉などもハラルのものでないと食べられません。でもご飯については、今はバングラデシュの硬いご飯より、日本の軟らかいご飯の方が好きです。
- 17年前は、スーパーに行っても、どこでも言葉が通じませんでした。ひとりで図書館へ行って幼児の本から勉強しました。近所の人にも優しく、教えてくれました。
- 東京は便利で友達も多く暮らしやすいですが、長く住むことや子育てを考えると徳島がいいです。
- 都会だと人から声をかけられることが少ないが、徳島では向こうから声をかけてくれます。私が住んでいたバングラデシュは徳島とよく似ているように思います。
- 魚がおいしいし、心が広く、田舎の人の心を持っていますと感じました。
- SNSなどで徳島について発信していますが、東京の友達に見せると徳島は最高だと言ってくれます。外国人だけでなく、日本の若い人にとっても魅力のあるところだと思うので、もっとたくさんの人に来てもらえるように、これからも発信していきたいと思っています。

（長町 順子）



アンケートより

印象に残ったこと

- 外国人の生の声が聞けてよかった。
- これから外国人を見かけたら声をかけていきたい。
- 今まで気づかなかった徳島の良いところを知ることができた。
- もっと徳島の魅力を発信していきたい。
- みなさんくろうしていっぱいがんばりましたとおもいました。

これから自分ができること

- 徳島のよいところを発信していく。
- かんじ かきたいです。
- 外国人に寄り添える自分になりたいです。



コロナ禍での JTM活動



国際ロータリー第 2670 地区ロータリー財団委員会地区補助金事業

2022年度 第1回定例会 座談会 とにも見る景色～私たちにできること～

【開催日】 5月14日（土）13:00～16:00 【形式】 オンライン

共催：徳島中央ロータリークラブ 後援：徳島県国際交流協会

県内在住外国人パネラー5名が、日本の生活で困ったり戸惑ったりしたことについて発表し、その後、34名の参加者が5グループに分かれ、徳島中央ロータリークラブのアドバイザー他4～5名の参加者との間で話し合いが持たれました。

【グループ1】 パネラー：ハン ヒジュさん（韓国 在日3年）アドバイザー：美馬香都子氏



大学4年生のハンさんは、卒業後も日本で働きたいと希望しているが、日本語の学習や、カードよりも現金を使うといった生活文化の違いに悩みを抱えていました。参加者からは、敬語学習に関してNHKニュースやJTM敬語講座を利用してはどうかとの助言がなされ、生活面では、今後日本もキャッシュレス化が進むだろうという見通しが伝えられました。

【グループ2】 パネラー：王 春さん（中国 在日12年）アドバイザー：富永 守氏



病院で医者の方が言うことが分からないなど、日本語のコミュニケーションが難しい王さんの奥さんの、日本での育児の大変さについて一緒に考えてほしいということで話し合いました。参加者からは、多言語問診票を置いている病院のリストがあるので利用してはどうか、スマホの翻訳機能を使ってはどうかという助言がありました。子育ての悩みに関しては、日本人参加者からも多くの共感が示され、学校の行事や通知など学校生活全般に関して、保護者に必要な日本語表現が掲載されているJTMのテキスト『子どもと暮らすこんにちとくしま』が紹介されました。

【グループ3】 パネラー：キタ ランス ユキオさん（アメリカ 在日21年）アドバイザー：藤田定吉氏



日本で長く暮らしているキタさんの、「国際交流ではなく、人間交流を目指そう」という主張をもとに意見交換を行いました。外国人と接する時、相手の国や文化についてのステレオタイプの見方が先立つことは多いが、個人対個人の質問や答えを繰り返すことで、お互いを認め合い、関係性も深められるという結論となりました。

【グループ4】 パネラー：岸本 リリベス セラグさん（フィリピン 在日23年）アドバイザー：木村清志氏



リリベスさんは、日本の法律面での相談先がわからず困ったと言います。また、今後、病院の看護助手の仕事に就き、日本国籍を取得したいがどうすればよいかとの相談もありました。アドバイザーの木村弁護士から「法テラス（日本司法支援センター）」が紹介され、他のメンバーからは、リリベスさんが通っているしらさぎ中学校で日本語力を高め、日本語能力試験の資格を取るなどして頑張してほしいとエールが送られました。

【グループ5】 パネラー：ベリャイエバ オルガさん（ウクライナ 在日11年）アドバイザー：米澤和美氏



オルガさんは母国のウクライナや外国の人たちの心のケアをしたいという願いを持っています。参加者からは、オルガさんが日本に来て困ったことや戸惑ったことをどのように乗り越えてきたかを来日外国人に話し、相談に乗ってあげることが大きな支援になるのではないかなどの意見が出されました。

パネラーの方々は、「悩みを聞いてもらい気持ちが楽になった」、「道が明るく開けてきた気がする」との感想を述べていました。この座談会ののち、日本語講座を受講したり、ボランティア登録をしたり、あるいは職業を得たりなど、新たな一歩を踏み出したとの嬉しいニュースも聞こえてきました。（渡辺由紀子）



身の回りのほっとする話

*体の部位を教えているとき、右左がわからなければ「片手」「片足」という言い方もあると伝えました。すると、Wさんは自分の肩を指して「片肩?」と聞いてきました。「カタカタ」という音の面白さに笑ってしまいましたが、一方で確かにそういう言い方もできると変に納得してしまった私です。(坂田)

*「～がほしいです」という文型を学習中、Aさんに「今、何が欲しいですか」と問うと、「わたしのくにのへいわです」と、覚えただけのひらがなで書いてくれました。じいんとして言葉が出ませんでした。(S.Y)

*いつも冗談を言っている整骨院で、「おととい桜吹雪の舞う中でテニスしたと言ったけど、今日も天気がいいし、華麗に舞うようにプレイしてきたんで?」と聞かれたので、「膝痛や要らないもんが加わって、加齢で華麗に舞えませーん。カレーの早食いならまだできますけど」と言うのと近くにいた人が、皆大笑いをしました。(Y.T)

*学校支援で出会ってから7年。努力して社会へ出ていくことができたA君。支援が終わったとき「また会うことができたら嬉しいね」と言いながらも実際はそんなことはないだろうと思っていました。ところが突然「仕事の休みが取れました。kfcを持って会いに行きます」とメールが来たのです。はて? kfc? 会えるのは嬉しいけどいったい何を持って来るの…。それがチキンと分かったときのおかしさ。若者だなと納得。ちょっと大人になったA君がkfcを提げて会いに来るのを心待ちにしています。(杜)

*日本語指導で「～を～たいです」の文型でいろいろな表現をしている時に「ラーメンを食べたいです」のような、食べ物の話になり、絵カードを使って食べ物の名前を覚えてもらっていました。「サンドイッチ」の絵を見ると、「サンドウィッチ」と発音する人がいて、「『サンドウィッチ』と言ってもいいんですが、日本語では「サンドイッチ」と言いますね」と言うと、その人が歌うように「サンドイッチ、サンドニ、サンドサン…」と言ったのを聞いて、皆は少し遅れて笑い出しました。(T.K)

*学校支援で、小学校2年生のT君を教えていたある日、換気のために入り口を開けてあったのに、T君が教室に入って来た時に閉めてしまったので、「7センチくらい開けておいて」と言うと、「7センチ」と訝しそうに言うので「これくらい」と人差し指と親指で長さを表すと、自分の指を私の指と合わせて、同じ間隔を保ったまま入口の所まで行って開けていたのが、大へん可愛らしくて笑ってしまいました。そして次の支援の日に、メジャーを持って行って、机の長さや身長などいろいろなものを測って楽しみました。(山溝)

*桃が店頭に並ぶ頃になると思いだすことがあります。まだ勤めていた頃、帰りのバスを待っていると小学校1年生くらいの男の子が一人泣きながら来ました。「どうしたの」と聞くと、「先生の所へ勉強に行く。行く時はバスで、帰りはお母さんが迎えに来る。今日は眠っていて降りる所を間違え、迷子になった」と話してくれ、事情は分かりました。誰かと相談するにも人もいなく、交番もなく、近くに電話ボックスがあったので、名前と住所の藍住というのをたよりに電話帳で調べればと思い、名字の漢字を確かめるために、持っているかばんの中を見ると、ノートに住所、名前、それに普通は書かない電話番号が書いてあり、急いで家に電話しました。待つこと15分くらいでお母さんが、車で来ました。「これうちでとれたものです。どうぞ」と箱入りの桃を差し出して「有難うございました。有難うございました。ほんとに有難うございました」と3回も同じ言葉を涙を流しながらうれしそうな笑顔で言っていたのが、今も印象に残っています。(J.M)

コロナ禍での JTM活動



2022年度 写真で

JTM総会

2022年度JTMとくしま総会



JTMとくしま日本語ネットワーク 設立25周年記念トークイベント



徳島県委託夏休み子ども日本語教室



にほんご寺子屋



春休みにほんご寺子屋(職場体験学習) 株式会社フジタ建設コンサルタント



日本語サロン



綴るJTMの活動

日本語指導勉強会



日本語指導部研修会



JTM主催 日本語講座「敬語を学ぼう!」



長年ご支援いただいている「徳島中央ロータリークラブ 創立40周年記念式典」に出席しました。



第1回定例会 座談会 ともに見る景色 ～私たちにできること～



他にもこんな活動をしています。

- 徳島県国際交流協会「日本語教室」日曜日担当
- 学校（小・中・高）及び幼稚園からの要請による日本語支援
- 徳島文理大学「日本語能力試験N1対策講座」担当
- 企業での日本語教室
「日本語初級会話教室」「日本語能力試験N5対策講座」
- プライベートレッスン
- 徳島県労働者福祉協議会
「外国人のための自動車運転免許取得支援講座」担当
- 運営会（オンライン会議）月1回
- 会報『スマイル通信』月1回発行
- 機関紙『あわゆずぶれす』年1回発行

INFORMATION

◆会員数（2023年3月31日現在） 正会員数33名 協力会員数5名
◆入会随時受付中！ 正会員…会の活動に参加し、ともに運営を行います。
協力会員・団体…会の活動を支援する個人または団体

活動紹介

ブラッシュアップのために

- ◇日本語指導勉強会
 - *毎月第2土曜日13:30~15:00
 - 〈模擬授業と意見交換〉日本語に関心のある方ならどなたでも参加できます。
- ◇日本語指導部研修会
 - *毎月第2または第3土曜日
- ◇日本語指導ステップアップ講習会
 - *毎月第2土曜日15:00~16:30
- ◇定例会



日本語学習をサポートする交流活動

- ◇日本語サロン
 - *毎週月曜日10:30~12:00
 - 徳島県国際交流協会（トピア）会議室
- ◇にほんご寺子屋
 - *毎週日曜日13:30~15:00
 - 徳島県国際交流協会（トピア）会議室

徳島県福祉基金助成金事業

- ◇オンライン日本語講座「敬語を学ぼう！」
 - 2022年5月26日~8月8日 週2日（月・木）
 - 昼コース 10:30~12:00
 - 夜コース 19:30~21:00 各コース全21回

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会主催講座

- ◇定住外国人向け介護初任者研修（日本語講座）
 - 2022年8月17日~12月16日（計439時間）
- ◇自動車運転免許取得支援講座
 - （読解力を高めるための日本語講座）
 - 2022年10月5日~2023年2月1日（全14回）
 - *毎週水曜日 18:30~20:30 ハイブリッド形式

日本語レッスン

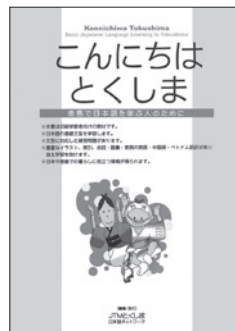
- ◇プライベートレッスン・グループレッスン
 - *詳しくは事務局またはレッスン専用メール
jtmmtoku-lesson@mbk.nifty.com まで。

JTMとくしまのオリジナル教材紹介

Konnichiwa Tokushima

こんにちは とくしま

徳島で日本語を学ぶ人のために



2020年2月
「教え方の手引き」発行

子どもと暮らすための

こんにちは とくしま

徳島で子どもを育てる人のための日本語教材



- ・全12課
- ・季節や身近な場面に合わせてどの課からでも学習できます。
- ・子育てを通して、まわりの人とうまくコミュニケーションできるようになるための表現が学習できます。
- ・学校の通知文の読み方や返事の書き方の練習ができます。
- ・生活情報がクイズ形式で学習できます。
- ・学校や生活に役立つ情報が得られます。

●ご購入・お問い合わせ JTMとくしま事務局

ご支援をいただきました

- ・徳島県福祉基金より助成金をいただきました。
- ・国際ロータリー第2670地区ロータリー財団委員会および徳島中央ロータリークラブより補助金をいただきました。

あ と が き

JTM25周年記念トークイベントで、徳島に住んでいるパネラーの皆さんが、徳島にたくさんの魅力を感じてくれていることを知りました。私たちの日本語支援も、その魅力のひとつになることを信じ、これからも活動を続けていきます。この「あわゆずぶれす」で、その活動のあゆみをぜひご覧ください。（辻 暁子）

発行／JTMとくしま日本語ネットワーク

発行責任者／兼松 文子

編集責任者／山満十糸子

編集スタッフ／加村 匡子・玉置 房・辻 暁子・長町 順子

村松 幸子・杜 美智・吉田 尚子・渡辺由紀子

印刷／徳島県教育印刷株式会社

■JTMとくしま日本語ネットワーク

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島2階

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会内

TEL 088-625-8387 FAX 088-625-5113

E-mail jtmmtoku@nifty.com

URL <https://jtmmtoku.com/>

f <https://www.facebook.com/jtmmtoku/>



HP



フェイスブック